

大学の世界展開力強化事業 取組概要 早稲田大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-Ⅱ))

アジア地域統合のための東アジア大学院(EAUI)拠点形成構想

【プログラムの目的・養成する人材像】

アジア地域統合のための永続的な大学院教育拠点として東アジア大学院(East Asian University Institute: EAUI)を2020年に開設することであり、EAUIを通じて「地球益」と「地域益」の実現に貢献できる高度な専門性を持った人材を養成する。

【構想の概要】

早稲田大学、北京大学(中国)、高麗大学(韓国)、タマサート大学(タイ)、ナンヤン工科大学(シンガポール)の5大学の連携で拠点を形成し、アジア地域統合プログラム(セメスター交換留学、サマー/ウインター・スクール、集中講義)、および共同研究を展開する。アジア地域統合に関する社会科学をベースとした包括的専門性を持つ人材を育成する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

1 学生交流協定(MOU)締結、アジア地域統合のための科目の設置

パートナー4大学全てと学生交流協定(MOU)を締結した。また、アジア地域統合のための科目を4専門分野×4テーマ=16のマトリクスに参加5大学それぞれが配置することにより、各大学の強みと特徴のある分野を交換留学生に対して明示的に示すことが可能になった。

2 合同教職員会議、バイラテラル会議、サマー/ウインタースクール組織委員会の実施

5大学合同の教職員会議(計4日)、バイラテラル会議、サマー/ウインタースクール組織委員会を開催し、科目、成績管理、ジョイント・サーティフィケートなど基本的枠組みを協議した。

3 欧州における国際的な共同大学院の設置に関する実地調査

本構想がモデルとする欧州大学院(EUI)、カレッジ・オブ・ヨーロッパ(COE)へパートナー大学と合同のミッションを派遣し実地調査と意見交換を行い、国際的な共同大学院の設置に関する具体的なプロセスについて理解を深めた。



〈第三回合同教職員会議於ナンヤン工科大学〉

■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況



〈第二回ウインタースクール 於ナンヤン工科大学〉

1 サマー/ウインタースクール、キャンパス・アジア集中講義(派遣・受入)の実施

第1回サマースクールを本学で、第2回ウインタースクールをナンヤン工科大学で開催し、5大学から教職員および大学院生が参加した。全大学の教員が講義を担当し、学生同士が議論を深め、互いの考え方を学ぶ機会となった。また、2大学の学生が参加する集中講義を北京大学(派遣)、タマサート大学(受入)との間で実施した。

2 セメスター交換留学(派遣・受入)の実施

本構想による交換留学の第一期生の派遣・受入を実施した。全5大学の学生が本大学およびパートナー4大学において4専門分野×4テーマのマトリクスに配置された科目を中心に履修し、講義や討論を通じてアジア地域統合への理解を深めた。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

1 早稲田大学学生の派遣

交換留学では高麗大学に2名、ナンヤン工科大学に2名、北京大学に1名、タマサート大学に2名の本大学学生を派遣した。また、ウインタースクールでナンヤン工科大学に14名、キャンパス・アジア集中講義で北京大学に5名の学生を派遣した。

2 外国人留学生の受入れ

交換留学では高麗2名、ナンヤン工科2名、北京4名、タマサート1名を受入れ、サマースクールでは4大学それぞれから6名、計24名の学生を受入れた。また、本学で実施した集中講義にタマサート大から7名受入れ、ナンヤン工科大でのウインタースクールに3大学計15名を受入れた。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	19	26	45	45	45
学生の受入	20	40	60	60	60
他大学間移動		15	15	15	15

注)H23・H24は実績、H25以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

1 早稲田大学学生の派遣

キャンパス・アジア事務局を設置し、バイリンガルのスタッフを配置。早稲田大学学生の派遣に際し、渡航や査証申請手続きを支援。また、出発前の事前説明会を実施した。セメスター留学の説明会を2回実施、ウェブサイトでも広報を行った。

2 留学生の受入

留学生の受入れに際し、キャンパス・アジア事務局が渡航や査証申請を支援。講義をはじめ全てのプログラム内容を英語で実施し、本プログラムで採用された助教2名とTA(日本人・留学生)がきめ細かく受入れ学生の滞在をサポートした。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

ホームページによる情報公開と各種報告書による教育内容の可視化、新聞紙面によるEAUI構想の広報、評価委員会実施

サマー/ウインタースクール、ワークショップ、教職員会議についてその内容と成果について報告書を作成し、関連する箇所に配付した。また、ホームページ上でも公開した。あわせて本大学の設置科目については4専門分野×4テーマのマトリクスに配置したものを公開している。また、本構想の事業概要を新聞2紙で全面広告を行い、広く社会一般にその意義を周知した。さらに、第1回評価委員会を開催し、産業界、国際機関、学術機関から選出された6名の外部有識者による成果の検証を受けた。